

2 風水害のときは

大雨・台風が近づいてきたら

テレビ、ラジオ、
インターネットで、情報収集



自宅の周りをチェック
事前に片づけ（鉢植え、
物干し竿、側溝、雨どい）



河川の周辺 及び 土砂災害の恐れがある地域にお住まいの方は…

警戒レベル3で高齢者などは避難開始！警戒レベル4で全員避難！

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
警戒レベル4 全員避難	避難勧告 避難指示（緊急）	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難に時間要する人（ご高齢の方、障がいのある方、妊娠中の方、乳幼児など）とその支援者は避難をしましょう。その他の人も避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2	洪水注意報 大雨注意報 等	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

◎高齢者などは【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始発令で避難を開始！

ご高齢の方、障がいのある方、妊娠中の方、乳幼児など避難に時間がかかる方は、雨風が激しくなる前に、水害避難所など安全な場所へ避難を完了しましょう。

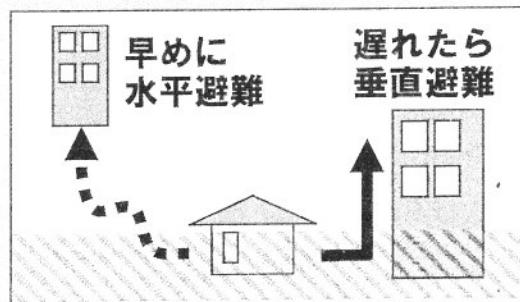
◎避難情報が出たら、近隣の方と声をかけて避難！

【避難することになったら】

- 動きやすく安全な格好で、2人以上で歩いて避難しましょう。
- 高い所の道路を通り、水中の危険物には注意して避難しましょう。
- 土砂災害警戒区域を避けて、安全に避難しましょう。
- ご高齢の方や障がいのある方などの避難支援にご協力をお願いします。

無理な避難はしない

- 水の高さが約50cm（大人のひざの高さ程度）を超えたなら、高い所で救援を待ちましょう。
- 逃げ遅れた場合や、暗闇などの場合で水害避難所へ向かうことに危険を感じたら、無理に水平方向へ避難するのではなく、安全が確保できる少しでも高い2階や3階（垂直方向）へ避難しましょう。



3 日頃の備え

1. 家族で話し合う

被災により、家族が離ればなれになった際に安否確認をする方法（災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの活用）について話し合い、連絡先などをまとめておきましょう。



NTTは、地震等の災害発生時など、被災地への通信が増え、つながりにくい状況になった場合に、災害用伝言ダイヤル「171」（被災地の方の電話番号をキーにして、安否等の情報を音声で登録・確認できるサービス）の提供を開始します。「171」番にダイヤルし、音声案内に従って操作することにより、誰でも簡単に利用できます。1回30秒まで録音可能で、被災地への通信が平常状態に戻るまで保存されます。

また、災害時の避難先、負傷したときに駆け込む病院（地域救護病院）や応急救護所の場所、救出のための資機材の備蓄場所、給水所などを事前に確認しておきましょう。

2. 避難や生活に必要なものを備蓄する

家族の人数と状況に合わせて内容を考え、①リュックにはすぐに取り出しができるためのもの、②自宅には最低3日分（可能な限り7日分）の食料などを揃えましょう。（飲食料、生活物資、着替え、ラジオ、懐中電灯、10円玉など。）



3. 近隣とのつながりを大切にする

日頃からあいさつを交わし、自治会・町内会に加入し、地域のお祭りなどの行事や防災訓練に積極的に参加しましょう。



4 防災・災害情報を手に入れる

災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合、市は市民の皆さんに対して正確な情報を迅速に提供できるよう努めます。

これらの情報提供ツールから災害情報を得たら、あわてることなく、適切な行動をとりましょう。

※防災行政無線の放送を聞き逃した場合や、大きな建物のそばや屋内にいる時など、聞き取りにくい場合は、電話「0180-994-144」にお問い合わせください。
(一部ご利用になれない電話があります。通話料は利用者の負担になります。)

1. ラジオ（コミュニティFM
レディオ湘南83.1MHz）
2. 防災行政無線（屋外に向けた放送）
3. 防災ラジオ
4. スマートフォンアプリ
5. エリアメール・緊急速報メール
6. ふじさわ防災ナビ
 - メールマガジン
 - 防災インフォメーション（HP）
 - twitter
7. ケーブルテレビ
8. 広報車等
9. 災害時用広報紙